

1. 単元名 5年生 割合とグラフ

2. 指導の立場

(1) 単元について

本単元では、「割合（小数、分数、百分率、歩合）の意味を知り、割合、比べる量、もとにする量の関係をとらえて、それらを求めることができること」、また、「目的に応じて資料を分類整理し、それを円グラフ、帯グラフを用いて表すことができるようにすること」を主なねらいとしている。

本単元は数量の関係の見方や調べ方についての理解を深める大切な単元といえる。そこで、次のことが大切であると考ええる。

数直線を用いると、「割合」、「比べる量」、「もとにする量」の関係が明確になること

百分率や歩合を用いると、割合を整数で簡潔に表すことができるというよさを大切にすること

そのために、次のことを大切に学習を進めていきたい。

単元を通して、もとにする量、比べる量を明らかにする手法として数直線を用いて学習を進めていく

百分率が日常生活に生かされている事象を取り上げ、日常生活と算数との関わりについてふれる場をもつ。

3. 本時の目標 (8/14)

もとにする量、くらべる量、割合の関係を数直線を用いて明らかにし、もとにする量を求めてから、くらべる量のもとにする量に対する割合を百分率で求めることができる。

見 つ け る	割合の求め方を考えたいというめあてを見つけることができる。	<p><b>問題</b></p> <p>右の表は、ひできさんの学校の児童数です。 男の子の人数は、全体の児童数の何%でしょう。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>男の子</td> <td>338人</td> </tr> <tr> <td>女の子</td> <td>312人</td> </tr> </table>	男の子	338人	女の子	312人	もとにする量、くらべる量、割合に着目する姿を価値付ける。
男の子	338人						
女の子	312人						
考 え る	割合の求め方を考えたいというめあてを見つけることができる。	<p>問題場面から、めあてを見つける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・もとにする量とくらべる量、割合を見つけよう。</li> <li>・今日は割合を求める問題だ。</li> <li>・もとにする量が全体の児童数だ。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <p>もとにする量が分からないときの、割合の求め方を考えよう。</p>	割合を求める公式を用いて簡潔に表す姿を価値付ける。				
深 め る	数直線などを用いて式の根拠をはっきりさせながら考えることができる。	<p>めあてについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉や数直線を根拠に「もとにする量」「くらべる量」を明らかにする。</li> <li>・公式に当てはめて考える。</li> <li>・数直線に表して、考える。</li> <li>・数直線と式を結びつけて考える。</li> </ul>	数直線を用いて、もとにする量、くらべる量、割合の関係を明らかにする姿を価値付ける。				
つ か む	考えを表現し合う中で、割合の求め方が分かる。 もとにする量が分からないときの割合の求め方が確かに分かる。	<p>発表し合って、自分の考えを深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで交流し、自分の考えを確かめたり、修正したりする。</li> <li>・「もとにする量」「くらべる量」を明らかにしながら、発表する。</li> <li>・数直線と式を結びつけて発表する。</li> </ul> <p>類題に取り組み、まとめたものを確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・女の子の人数は、全体の児童数の何%か考える。</li> <li>・他の問題場面を考える。</li> </ul>	数直線と割合を求める公式とを結びつけて考える姿を価値付ける。  女の子の人数は、全体の児童数の何%かを求める方法を考え、割合の理解を深める。				